

令和6年度真岡市総合教育会議議事録

1. 日時 令和6年10月8日(火) 午後2時30分
2. 場所 本庁舎404 会議室
3. 出席者
(構成員) 石坂市長
山中教育長、邑楽教育長職務代理者、小倉教育委員、横山教育委員、伊澤教育委員
(関係者) 嶋田副市長
(事務局) 古澤教育次長、鶴見学校教育課長、荒石生涯学習課長、伊澤文化課長、上野スポーツ振興課長、細谷学校給食センター所長、櫻井自然教育センター所長兼科学教育センター所長、黒田プロジェクト推進課長、小林プロジェクト推進課複合交流拠点整備係長、大出こども家庭課長、秋田谷第一子育て支援センター所長、石川生涯学習課課長補佐兼生涯学習係長、高崎学校教育課課長補佐兼総務係長、藤澤学校教育課課長補佐兼施設係長、吉羽学校教育課指導係長、大関学校教育課教育政策係長、横山学校教育課教育政策係指導主事、澤村学校教育課教育政策係指導主事、酒井学校教育課教育政策係主査
4. 傍聴人 0名
5. 議題
 - (1) 複合交流拠点施設「monaca」の活用について
 - (2) 本市のICT教育について
6. 議事の内容
 - 1 開会
古澤教育次長 それでは定刻少し前ですが、皆様おそろいですので、ただいまから令和6年度真岡市総合教育会議を開会いたします。本日の会議の進行を務めます、教育次長の古澤です。どうぞよろしくお願いいたします。
 - 2 あいさつ
古澤教育次長 はじめに、本会議の主催者であります、石坂市長が挨拶を申し上げます。

石坂市長 石坂市長あいさつ

3 議題

- 古澤教育次長 ありがとうございます。それでは、次第、3 の議題に入ります。
ここからの議事進行は、石坂市長が議長となって進めて参ります。
よろしくお願いいたします。
- 石坂市長 まず、本会議の議事録署名人を指名いたします。
 邑楽教育長職務代理者及び小倉教育委員を指名いたしますのでよろしく
 お願いいたします。
 これより議事に入ります。議題 1、複合交流拠点施設「monaca」の活用につ
 いて事務局から説明をお願いいたします。
- 小林係長 複合交流拠点施設「monaca」の建設の経緯や建物の概要について説明をし
 た。
- 石川補佐 複合交流拠点施設「monaca」の図書館部分について説明をした。
- 秋田谷所長 複合交流拠点施設「monaca」の子育て支援センター部分について説明をし
 た。
- 石坂市長 ただ今、複合交流拠点施設「monaca」の活用について事務局より説明があ
 りましたが、この議題についてご意見をいただけたらと思います。
- 小倉委員 複合交流拠点施設の図書館では、前のスタッフの方、おそらく司書の方がコ
 ンシェルジュになるということだが、施設全体では大体何名の方がコンシェル
 ジュになる予定なのか。また、市内小中学校の司書との連携は、具体的にどの
 ように考えているのか。私は最近になって図書館を利用するようになったが、
 利便性が良く、ここの図書館になれば、検索をして、二宮の図書館にあれば
 持ってきてくれるとか、そのような連携という点も、ありがたいと思っている。
- 石川補佐 図書館の司書は現在 13 名おり、その方々は全員複合交流拠点施設に移動し
 て、仕事に携わる。また、複合交流拠点施設は、最初に統括責任者がおり、そ
 のあと、子育て部門、図書館部門、地域交流部門それぞれの統括責任者がお
 り、その下にスタッフの方が配置されるというような体制になっている。学校司
 書との連携については、図書館が団体の貸し出しに対応するとか、学校司書
 の研修に図書館司書が参加するとか、現在も連携しており、新しい施設にな
 れば更に体制は強化される。また、指定管理者でもいろいろ考えているような

ので、それをうまく連携させて、お互いに向上できるようなことを今後考えていきたいと思っている。また、全フロアに図書館のスペースがあるので、読書好きな子供がたくさん育つといいなと思うと同時に、大人も読書好きにならないといけないなと思っている。

横山委員 現在、中学生と高校生の子供が図書館の学習室を使っているが、新しい施設の学習室は現在と比べて広くなるのか狭くなるのか。また、青空ステーションで勉強している方も多いが、こちらはにぎやかで集中できないという声もある。新しい施設は図書館目的以外の方も来る複合施設になるので、多少にぎやかになることが予想されるが、学習室の防音性はどうか。

石川補佐 複合交流拠点施設は、1 階 2 階が基本的に音を出しても良いスペースになっている。その中で、1階の個人学習用エリアが、青空ステーションの音環境に近い形で利用できるようになっていて、そのほかに、1 階には、個室のグループ学習室が2部屋ある。また、3 階には、静かに学習したい人向けの学習室がひとつ用意してあるので、ニーズに合わせて利用してもらえる。

石坂市長 青空ステーションは学習だけを目的に作った場所ではないので、いろいろなコミュニケーションを図っていただきたいと思っている。

邑楽委員 利用者カードについてだが、10 月初めに新規カードを作ろうとしたところ、9 月末で打ち切られてしまったということだった。以降は、1 月 25 日に開館してからでないとカードを作ることができず、何をするにしても必ずその場に行かないとできないというのは不便である。また、当日は非常に混雑するのではないか。

石川補佐 その件について迷惑をかけてしまったが、かなり多くの方が更新の手続きを完了した。1 月 25 日からは混雑が予想されるので、集中して対応できるように対策をとりたい。

石坂市長 開館前に更新することができないのはなぜか。

石川補佐 新施設への移行期間中に対応できる窓口開設を検討したが、移転及び引越業務のほうに注力するということで、対応が難しかった。皆さんには、移行準備・業務を滞りなくやらせていただきたいということで、ご理解をいただきたい。

- 石坂市長 開館日前に新規カードを持っていないと、オープンしてから手続きをしなくてはならないので、借りる人にとって非常に不便である。例えば、1 月になったらどこかの窓口で対応するとか、特別窓口を設置するとかできないか。これはまさに市民サービスであり、図書館が開館してすぐに本を読みたい人はたくさんいるので、対応してほしい。
- 伊澤委員 新しい建物が出来上がってきて、部屋の中も見えてきて、まちに対してオープンな素晴らしい施設だなと思っているところ。その中で 2 点質問があるが、ひとつは、ガラス張りで書架が見えているような状態で、紫外線対策は何かしているのかという点。長野県小布施のまちとしょ「テラソ」という施設もガラス張りだが、本が紫外線で傷んでしまっている。「monaca」3 階の図書館部分は北側にあるから大丈夫だと思うが、南側に面している 1 階 2 階はどうか。もうひとつは、私たちは今日しっかり説明をしてもらって非常に面白い施設だということが分かってワクワクしているが、このことが市民に広く周知されているのかということ。全体的な広報計画はどのようなになっているのか。
- 小林係長 建物のガラス面は、基本的に UV カット仕様のガラスを採用しているおり、深いひさしも合わせて対策をしている。ただ、100%防げるわけではないので、図書館の指定管理者の運営側と協議しながら対策していきたいと思う。
- 石川補佐 広報計画については、11月12月の広報もおかに掲載がある。また、「monaca」全体のInstagramは直前になる予定だが、図書館については先行してInstagramを立ち上げる予定なので、そのようなものを利用して、内容を確認しながら、皆さんにお知らせしていきたい。
- 伊澤委員 直前にInstagramを初めたとしても、フォロワーがいない。今からしっかりと広報していかないと、直前で細かい情報を流しても誰も見ていないという状況になってしまうので、今すぐにいろいろ発信するといいのではないかな。
- 石坂市長 今いただいた問題提起は検討ではなく、実施してほしい。また、ある程度の規模の団体で施設を見たいという問い合わせがあるので、PR として、できるだけ多くの方に見学をしてもらい、広報もおかでもお知らせしたいと思う。ただし、広報はお年寄りが見て片付けてしまったり、捨ててしまったり、若い方や実際に子育てしている方が見ない、興味もないという残念な現実があるので、やはり、積極的に内覧会を進めて、実際に多くの人に施設を見てもらいたいと考えている。

- 邑楽委員 自転車がとても好きな方は高額な自転車を所有していたりする。施錠していても鍵が壊されて盗まれてしまう例も多い。こちらの施設駐輪場は、施錠関係で特別工夫しているか。
- 石坂市長 一般的な自転車を置くことを前提としているため、高級なサイクリング自転車を置くような特別仕様は考えていない。公共施設でそのような特別な自転車に対応するということは非常に難しい。施設駐輪場は何台止められるのか。
- 小林係長 駐輪場は2か所あり、建物東側に 79 台、西側に 32 台停めることができる。通常の自転車であればスタンドに入れて停められるような仕様になっているので、そのスタンドにチェーンロックなどをかけることもできる。また、防犯カメラも設置している。
- 小倉委員 駐車場は 68 台分あるということだが、図書館だけでなく子育て支援センター利用者とか、図書館のイベントなどを考えると、68台では止めきれないと思う。実際に今日はコンサートイベントと重なってしまい、市役所の駐車場が満杯だった。「monaca」駐車場に止められなかった方が市役所駐車場に停めて、市役所に用事があった方が止められないとなると、本末転倒なので、ここが駄目ならこちらに停めてくださいとか、こちらもありますよとか、そのようなお知らせがあると市民に対して親切だと思う。
- 黒田課長 大きなイベントの時などはかなり混雑することが予想されるので、市の駐車場を含めて、解放できる場所を事前にお知らせして、混雑がないように努めたい。
- 石坂市長 大きなイベントでなくとも「monaca」駐車場に止められないことがあるかもしれないが、常時、市の駐車場を利用して良いというわけにはいかないか。
- 黒田課長 1月 25 日開館後には、利用状況等の推移が見えてくると思うので、今後きちんと判断していく。
- 山中教育長 1 階の地域交流ゾーンについて、様々な団体の方々が活用したいと思っていると思うが、窓口はどこになるのか。
- 小林係長 1 階には、指定管理のスタッフが常駐している総合案内がある。地域交流は様々な活動があると思うが、会議室の運営や「monaca」の運営に関わるボランティアの方、また、その方々の支援なども含めて、1 階の総合案内のスタッフ

が対応していきたい。

石坂市長 会議室の予約はどのようにするのか。

小林係長 会議室の予約もそのスタッフが対応する。また、Web 上で予約できる予約システムの導入も進めているので、そちらについては「広報もおか」などいろいろな手段でお知らせをしていく。

伊澤委員 子育て支援センターの対象年齢はどのくらいなのか。

秋田谷所長 こども広場については、屋内型と屋外型ともに、0 歳から小学 6 年生まで利用できる。利用料金は 2 歳未満が無料。交流スペースぴよぴよルームについては、0 歳から 2 歳未満が対象。

伊澤委員 この中に産後ケアは含まれていないのか。

大出課長 産後ケアは、こども家庭課の母子健康係というところが担当しており、今回の複合交流拠点施設の中の子育て支援センター業務外となる。

小倉委員 今は少子化であり、核家族化もしているので、お母さんたちにとって「monaca」は非常に有効な施設だと思っているが、こども広場と交流スペースでは、具体的にどんな活動を想定しているのか。例えば、親子で歌とゲームを楽しむとか、コンサート等を開くとか、そのようなことはあるのか。1 階にピアノがあれば、みんなで一緒に歌いましょう、とすぐに対応できると思うがどうか。

秋田谷所長 指定管理者とともに検討しながら、現在子育て支援センターでやっている行事などを、今後、屋内型こども広場でもやりたいと考えている。今、第 1 第 2 子育て支援センターでは、10 時 45 分からお楽しみタイムということで、ピアノなどを使って手遊びなどを行っているが、そのようなものを受け継いでいく方向で検討していて、ピアノは、電子ピアノなどを代替品として検討している。

小倉委員 子供はとても音楽が好きで、リズムを使った動きなども好きなので、ぜひピアノを使って自己表現する場をたくさん作ってあげたい。電子ピアノを置くのであれば、少し触っただけで音が出てしまうと非常に弾きづらいので、鍵盤のタッチがピアノに近いものが良い。

- 秋田谷所長 指定管理者と話し合いをしている最中ではあるが、ピアノは、現在子育て支援センターで使っている電子ピアノに近いものを置く予定。
- 石坂市長 複合交流拠点施設については、本日いろいろな要望、質問等も出たので、それを踏まえた上で、検討するのではなく、すぐにやる、という意識で取り組んでいただきたい。
- 石坂市長 それでは、次の議題に移らせていただきます。次の議題は、本市のICT教育について、事務局から説明をお願いします。
- 澤村指導主事 真岡市の ICT 教育の現状、実現を目指す姿について説明をした。
- 伊澤委員 全ての児童生徒に端末が配備されているのはすごいことであり、我々が子供のころからすると考えられない状況である。先日、中学校に訪問したとき、生徒がキーボードが付いたタッチパネルタイプの端末を授業で使っており、また、電子黒板も非常に有効だと思った。例えば、生徒がプログラミングを学びたいと思ったときに、そのツールとして端末は手元にあるが、やり方を学べる機会や環境はあるのか。
- 澤村指導主事 真岡市としては、夏休みに小学生を対象としたプログラミング体験教室を真岡工業高校と連携して実施している。中学生向けにも、真岡工業高校と連携して、プログラミング出前授業を実施しており、技術・家庭の授業の中でプログラミングを学ぶ機会がある。学校の中では、技術・家庭の教員が、1 人 1 台端末やパソコン室の Windows パソコンも使って、プログラミングの授業をしている。小学校では、プログラムを組むことが目的ではなく、プログラミング的思考を育むために、理科や算数、社会など教科の中で、プログラミング教育を実施している。例えば、理科では、暑くなったら扇風機が回るというプログラムを組んで、端末と教材を組み合わせて学んだり、算数では正三角形のプログラムをスクラッチというソフトで書かせてプログラミングの仕組みを学んだりしている。
- 伊澤委員 プログラミングに興味を持った子供たちが、学べる人、専門図書、相談できる場所などを整えることで、一人一人が持っている端末というツールがより有効に活用できるのではないかと思う。地方にいても、学びたい子供が学べる環境を整えることで、興味を持ち、力を発揮できる子が育っていくと思う。

伊澤委員	デジタルが主でアナログが従、という説明があったが、学校へ訪問したときに、数学の授業の中での端末の使い方について気になったことがある。数学の問題を解く時に、タッチパネルに手で数字を書いている場面があった。実際に、プログラミングする人たちも、ノートとペンを置きながら、プログラムを組んでいく。例えば、反復して見られるグラフィック的な表現や問題を提示することについてはデジタルが有効だと思うが、アナログの良さも、しっかりと取り入れていくことが良いのではないかな。
澤村指導主事	これまでのアナログの蓄積をもとに、アナログの良さを生かしたデジタルの効果的な使い方ということがテーマになるので、教育委員会からも有効な使い方について繰り返し助言していきたい。
山中教育長	ICT機器はあくまで道具であり、その道具を色々なことに使って欲しいと思っている。その中で、効果的な使い方について、先生方同士で共有し、良さを広めながら活用していくことを各学校の先生方をお願いしているところである。
小倉委員	GIGAスクール構想が出てきて、電子黒板が導入され、あっという間に学校の中も変わってきた。今まで使ったことがなかった先生もいると思う。先生方は、ICT を使わなければならないという思いから、端末や電子黒板を使うことが手段ではなく、目的になってしまいがち。何回か学校訪問をした中で、電子黒板に映さなくてもよいのではないかな、黒板に書いた方が見やすいのではないかなと思う場面もあった。デジタルとアナログの関係性、ICTの効果的な使い方について学ぶ機会や研修を取り入れていただきたい。
澤村指導主事	教育委員会主催として ICT 活用研修会を行ったり、ICT 支援員が授業での効果的な使い方について提案してくれたりしている。その他、校内研修、公開授業により、より効果的な活用について広めている。手段が目的になってしまうというのは、ICT 活用の課題であると思うので、適切な活用ができるよう繰り返し伝えていきたい。
山中教育長	以前は、調べ学習は図書館に行って色々な書籍を集めて調べて、みんなで模造紙にまとめていた。パソコン室ができてからは、パソコン室に行ってインターネットを使って調べ、まとめていくというように変わってきた。さらに現在は、1人1台端末が配備され、パソコン室に移動しなくても、教室で、個人で調べ学習ができるようになり、すごく変化が激しいと思っている。先日のニュースで、調べ学習はAIにお願いして、AI が全部まとめてくれるという話題を見た。AI を

活用したら、調べ学習の必要がなくなってしまうのではないか。今後、AIの活用がどのように進んでいくのか、また、AI について必要な注意点についてどのように考えているか。

澤村指導主事 文部科学省からも AI の活用についてのガイドラインが出されてきている。具体的な活用という所までにはいたっていないが、AI が示すものの中には間違っているものも含まれるということ、どのような指示を出すと適切な回答が返ってくるかという技術も必要になってくると、道徳的なことになると思うが、読書感想文や作文などに AI に書かせたものをそのまま使うということは適切な行為ではないこと、などに注意し、適切な指導が必要だと考えている。いきなり飛びつくのではなく、どのような危険性があるのか、どのような効果的な活用ができるのかについて、まずは教育委員会、教職員が理解した上で、活用していくべきものだと思う。現在使っているアプリケーションにも、すでに AI が組み込まれているものがあるので、AI が使われている技術についても子供たちに知らせていくことが必要であると思う。

石坂市長 AIという話題が出たが、もうすでに自分を決められない人間がたくさん出ているという。AIに自分は誰なのか、人と話すときは何を話したらいいのかと、AIに聞く時代である。すでにAIに頼ってきた子供たちが、教員になる可能性も多いわけである。教員も教えることができなくなる、そういう時代になるおそれが、真岡市だけでなく、社会全体で懸念される。AIというものの正しい使い方について、しっかりと学校で先生方が教えていかないと間違った方向に進んでしまう。真岡市では、新たなものを進んで使い新しい社会を作るのは非常に良いことだと思っている。是非、使い方について、間違いのない適切な教育をお願いしたいと思う。

石坂市長 それでは、次の視察もありますので、以上で議事は終了します。今日、教育委員の方々から出た意見については、十分に受けとめ、改善できるものは早急に取り組むということで、お願いしたいと思います。

4 その他

古澤教育次長 それでは続きまして4、その他に入りますが、委員の皆様から何かございますか。

その他、意見等なし。

5 閉会

古澤教育次長

以上をもちまして、本日の議事のすべてを終了いたします。皆様からいただきました、ご意見、ご提言につきましては、今後の教育施策に生かせるよう努めてまいります。また、複合交流拠点施設につきましては、1月25日の開館以降も、委員の皆様が利用した中で、こうしたほうが良いというご意見などがありましたら、適宜事務局の方に教えていただければ対応してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、令和6年度真岡市総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。

7. 閉会時間

午後3時50分